

平成 22 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 関東電化工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 富田芳男
(コード番号 4047 東証第 1 部)
問合せ先 人事総務部長 浦本邦彦
(TEL. 03 - 3216- 4561)

中期経営計画（チェンジスタート 2010）の概要 （平成 22 年度～平成 24 年度）

関東電化工業株式会社は、このほど、平成 22 年度を初年度とする第 8 次 3 ヶ年計画を策定いたしましたので、その概要につき、お知らせいたします。

本計画においては、この 3 年間で、社会の変化に機敏に対応し、成長・発展し続ける会社を創り上げていくことを基本に、「**環境変化に適応できる創造的開発型企业**」を目指し、成長戦略の実現と新規製品の早期創出、既存事業の収益力強化に注力してまいります。なお、サブタイトルである「チェンジスタート 2010」は、各人が改善意識を持って様々な「**チェンジ**」を行い、企業目標の実現を一致団結して行うという意味を込めたものであります。

記

1. 数値目標（最終年度）

売上高 : (単体) 450 億円、(連結) 500 億円
営業利益 : (単体) 60 億円、(連結) 65 億円
ROA : (単体) 10%

※ROA：総資産利益率、営業利益を総資産で除した数値。

2. 企業目標

(1) 成長戦略

当社独自の技術開発力を生かした精密化学品事業を成長の牽引役と位置付け、電池材料事業の拡大、グローバル展開の推進、環境対応型ガスの拡販の 3 項目を重点成長課題として積極的に経営資源の投入を行い、マーケットの成長に合わせた能力増強や開発及び拡販を図る。

(2) 新規製品の早期創出

戦略的な研究テーマの選択と集中、開発・上市のスピードアップ、将来を見据えた研究開発体制の構築を目的とした組織の再編を実施し、当社の強みを生かした技術で、電池材料分野、半導体・太陽エネルギー分野、有機ファイン分野、無機ファイン分野において、新規製品の研究・開発を推進する。

(3) 既存事業の収益力強化

基礎化学品事業、鉄系事業、フッ素系ガス事業それぞれに、徹底的なコストダウンの継続と需要に対応した供給体制を構築し、収益の確保を目指す。

(4) 企業文化の確立

事業を推進する上で、CSR（企業の社会的責任）を意識した経営理念と行動指針をベースに、経営体質の強化、企業文化を確立し、社会から信頼され誇りを持って働くことが出来る企業づくりを目指す。

(5) 財務体質の改善

事業の成長戦略と財務のバランスを取った効率的な経営資源の配分を実施し、財務体質の改善を図る。

3. 上記を達成するための戦略とその主な施策

(1) 成長戦略

- ①電池材料事業については、経営資源を積極的に投入し、需要拡大が見込まれるマーケットの成長に合わせた能力増強を実施する。また、競争力強化のために生産革新を図り、世界シェアトップの座を維持する。
- ②グローバルな営業展開、研究開発力の活用及び原材料の調達を目的に、海外拠点の充実を図る。
- ③温暖化対応ガスの積極的な市場展開、太陽電池向け特殊ガス製品の開発及び拡販を図る。

(2) 新規製品の早期創出

- ①研究開発体制を再編し研究統括部を設置するとともに、市場からの情報や顧客からの要望に素早く対応出来る体制を構築する。
- ②当社の強みを生かしたフッ素・塩素等のハロゲン化合物、微細化技術を利用し、新規製品の研究・開発を推進する。

(3) 既存事業の収益力強化

- ①フッ素系ガス事業については、生産革新を含めた徹底的なコストダウンを実施するとともに、拡大する需要に対し積極的に供給体制を構築する。
- ②鉄系事業については、製造・販売・研究が一体となった事業運営を図り、顧客ニーズに素早く対応し、収益の改善を図る。
- ③基礎化学品事業については、水島コンビナート地区再編による需要変化に対応し、塩素・水素を利用した高付加価値戦略を実施し、徹底的なコストダウンを継続する。

(4) 企業文化の確立

- ①安全体質づくりとして、安全・安定操業が企業文化の基盤であると再認識し、ISO・労働安全衛生マネジメントを基本としたPDCAサイクルによるスパイラルアップを図る。
- ②環境対応として、製品の増加に伴う廃棄物の処理対応について、廃棄物抑制、再利用、再資源化(3R)を意識した取り組みを進める。
- ③人と組織の活性化として、向上心を持った人材の育成、競争力のある組織を目指す。
- ④全社的業務改善活動(K-SF³活動)を積極的に推進し、活動内容のレベルアップを図り、コストダウン体制(体質)の強化、安全、環境などの諸施策を推進する。

4. 数值計画（連結）

（単位：億円）

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
売上高	4 1 5	4 6 0	5 0 0
営業利益	3 7	4 7	6 5
経常利益	3 5	4 7	6 5

以 上